

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課

会議名 令和5年度 第1回諏訪市文化財専門審議会

開催日時 令和5年11月30日(木) 13時30分 ~ 16時00分

開催場所 諏訪市役所(302)・仏法紹隆寺

出席者 (出席者) 委員:大窪久美子・織田顕行・高林重水・二本松泰子・三上徹也・宮坂正博・渡邊匡一
幹事ほか:三輪教育長・細野教育次長・五味生涯学習課文化芸術担当課長・
中島文化財係長
事務局ほか:文化財係日野主査
(欠席者) 委員:小口徹・二村悟・宮坂清
(傍聴者) 2人(審議会)・3人(仏法寺現地視察) (敬称略)

資料 次第、報告・意見交換資料(補足資料)

協議事項(内容)及び会議結果(要旨)

13時30分～15時00分 審議会

- 1、開会
- 2、自己紹介
- 3、教育長あいさつ
- 4、正副委員長選出 委員長:宮坂委員 副委員長:渡邊委員
- 5、報告(文化財経過報告)
- 6、意見交換(市指定記念物「大祝家のイチョウ」現状変更について)
- 7、現地視察(市有形文化財候補物件(仏法紹隆寺聖教類)現地視察)
- 8、閉会

[質疑意見一括]

5、報告

・霧ヶ峰の笹の侵食は脅威であり、適度に刈り取り(手入れ)を行うことが必要。保存活用・保存管理計画を立てて国の補助を受けながら手入れをすべき。緊急事態というレベルにある。また八島湿原のズミが湿原の景観を阻害している。

・文化センターのホールの天井は、吉田五十八の肝と考えるが改修はどのようになるか。

→材質等は変えるとしてもできる限り形状を維持・保存するという方向性である。

6、意見交換

・イチョウに限らず市天然記念物の管理は、常に人が手を入れる必要がある。

7、現地視察(仏法寺に移動して渡邊委員の説明のもと指定候補資料の見学)

・僧侶の学校として蓄積された蔵書類で、時代により形成過程の違いが認められる。

・他の寺院と比べてサンプル数が多く、今後同様な調査研究がなされる場合のモデルケースとなる。

などの学術的価値について説明がある。

→所有者より早期の指定の要望があり、速やかに指定に向けた準備をするのが望ましいとの方向性でまとまる。